

保谷小教育目標
すすんで学ぶ子
助け合う子
元気な子

保小だより



謹賀新年

信じ、助け合い、挑戦する学校であり続けます

校長 高野 富

平成28年（西暦2016年）を迎えました。あらためて保谷小学校を支えてくださる皆様に新年のご挨拶を申し上げます。数々のご厚情に熱くお礼を申し上げます。

さて、12月28日職員室の正面黒板に、朱で「平成28年明けましておめでとうございます。」の文字と共に富士百景の数枚を飾りました。年末年始の子供たち、教職員、地域の皆様、学校施設等、全体の無事を祈りつつ仕事納めといたしました。

明けて1月6日、1週間ぶりにくぐる通用門はかんぬきが掛けられてはいるものの、校舎に入ると営繕室での橋本用務主事の執務の音がします。冬期休業中は心と体を休めると同時に次の学期の準備期間です。正月休みを終えた教職員の笑い声と共に熱気が伝わります。職員室へ入ると出勤した教員が起立し新年の挨拶をしてくれます。いつもと変わらない雰囲気（今年も無事出発出来そうだ。）との予感と安堵の気持ちが入り交じります。

このように、長々と年末年始の学校の様子を書きましたのは、私がここ数ヶ月考えていることを皆様にお伝えしたかったからです。それは、「事故がおきるのはおきる原因があり、事故がおきないのはおこさないための日々の努力があり、危機が迫っても最小限で防ぐ日頃の危機意識と危機に対する鋭さが重要。」と言うことです。

これを踏まえ、子供たち、教職員、保護者や地域の皆様にお会いする毎に以下の内容をお伝えしています。

これからの社会を生き抜くために私たち一人1人に必要なこと。

- ※ 自分の心と体を常に前向きで安定した状態に出来る自己コントロール力。
- ※ 自分の強みと弱みを自覚し、周りの力を借りることが出来る謙虚な心。
- ※ 社会の変化を察知し、本質は変えず方策を変えることの出来る柔軟な行動力。

さらに分かりやすく言い換えると、いつも明るく元気であるための自分だけの方法を

見つけること。互いに助け合い協力する姿勢を態度で示すこと。伝統は守りつつ新しく必要なことは果敢に挑戦することです。

これらは一見、冒頭の学校の様子と関係ないように見えますが、底に流れる意識は同一です。私は、日頃から、自分や周りを信じてもっている力を出し合うこと。協力し大勢で解決すること。やろうと思うことはまずやってみよう。と語りかけています。子供たちのために、自分を信じ、周りを信じ、社会の要請に応える。これこそが保谷小学校のあるべき姿、これから進むべき姿と思うのです。

「すすんで学ぶ子・助け合う子・元気な子」実現に向け保谷小学校はこれからも前進します。ご期待ください。